

## 急性期脳梗塞患者の血栓回収療法におけるデバイス・手技についての検討

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

### 研究の目的と方法

機械的血栓回収療法は急性期脳梗塞に対する有効性が確立され、世界中で広く普及している治療法です。有効再開通を短時間、少ない治療回数で得るためのデバイス開発や手技の工夫が研究されていますが、現在でも一定の見解は得られておらず、術者の判断に委ねられている状況です。

当院での治療実績を用いて、どのデバイスを選択した場合に有効再開通率が高いか、またデバイスの誘導や展開位置といった手技上のポイントと有効再開通率の関係について検証することを本研究の目的としています。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

### 研究の対象となる方

2020年1月～2021年12月に当院で急性期脳梗塞に対するステントリトリーバーを用いた機械的血栓回収療法を受けられた方

### 使用する試料・情報

年齢、性別、既往歴、血液検査、CT・MRI検査、手術情報

### 研究予定期間

研究実施許可日～2022年12月31日

### 個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 脳神経内科 長尾洋一郎

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

### 研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

#### 問い合わせ先

済生会熊本病院 脳神経内科 川本圭右

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)